

政府の新たな「少子化社会対策大綱」 希望出生率1・8の実現

政府は5月29日、「第4次少子化社会対策大綱」を閣議決定しました。

大綱は、2025年までの子育て支援の指針となるもので、子育て世代が希望通りに子どもを持てる「希望出生率1・8」の実現へ環境を整えるとしています。

そのために、男性の育児休業取得率を現在の6%から30%へ引き上げを目指し、育児休業給付金の拡充や、2人目以降の児童手当の上乗せ、不妊治療の経済的負担の軽減を図るとしています。

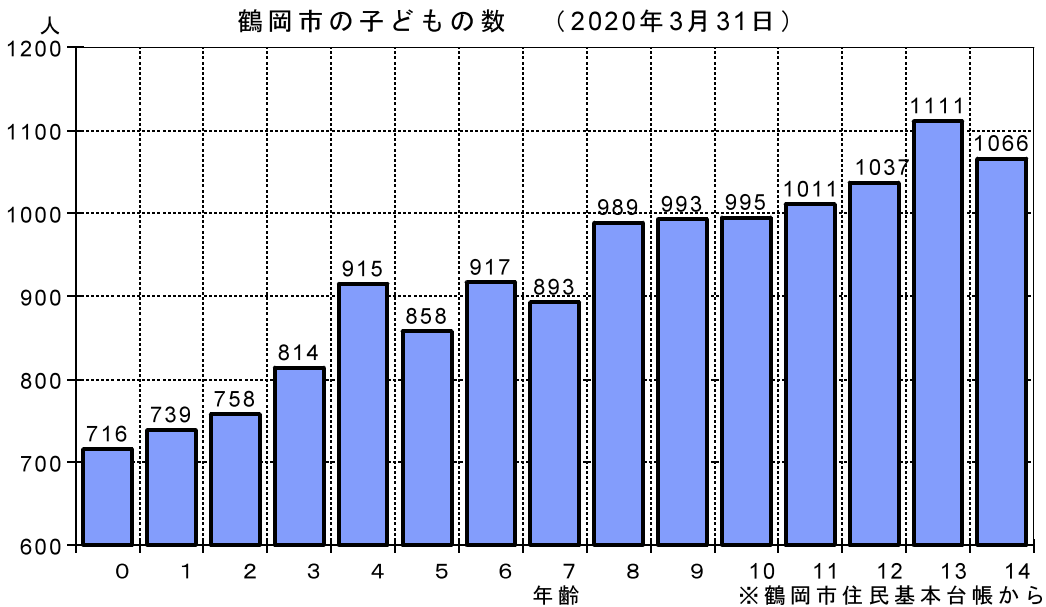
鶴岡市の令和元年度出生数716人

鶴岡市全体の昨年度 す (住民基本台帳)。

出生した0歳児は716人で、1歳児739人から22人減り、最少の記録を更新しています。

子連れ流入が減速

市の委託により鶴岡市の人口分析を担当している藤山浩氏(持続可能な地域社会総合研究所所長)の調査によ



※鶴岡市住民基本台帳から

少子化社会対策大綱案の
主な数値目標と達成度
新目標の一部は更新される
可能性がある

主な政策	前回大綱(15年)での目標	現状	達成度	新大綱案(20年)での目標
待機児童数	解消目指す	1万6772人(19年4月)	×	解消目指す
学童保育の整備	122万人	約130万人(19年5月)	○	152万人
男性の育休取得率	13%	6.16%(18年度)	×	30%
6歳未満の子を持つ男性の育児・家事時間	1日2時間30分	1日83分(16年)	×	1日2時間30分

(朝日新聞デジタルから)

れば、2018年度まで若干あった「子連れ世帯流入」が2019年度には減速し、少子化の進行は加速傾向にあり、20代(特に女性)の大幅な流出超過を取り戻せていない、と述べています。

人口減少対策としては、

- ①出生率を2・07に段階的向上(現在は1・53)
- ②10代後半〜20代前半の流出率を抑制すること(男30%↓15%、女28%↓14%)
- ③定住増加数を1年当たり人口の0・7%分(住民143人に1人)を目標にすることを提案しています。

子どもの国保税減免に着手すべき

政府の新しい少子化対策大綱では、男性の育休取得率を現行6%から5年後に30%に伸ばすことが盛り込まれています。

「国際比較データによると、男性の家事・育児参加が進んでいる国ほど出生率が高い傾向があり、女性だけに子育て負担が集中してしまつと、女性が子どもを持つことに対して前向きになれず、夫婦としても子どもを持たなくなるためだと考えられている。」(NHK視点・論点5月27日)

育休制度の拡充では、「現在、直近6カ月の給料の67%が育児休業給付金として支払われているが、この給付金は非課税で社会保険料の納付も免除されてい

安倍首相が4月1日に唐突に打ち出した「マスク2枚全世帯配布」その「アベノマスク」は6月2日でも我が家に届きません。

医療機関がマスクや防護服の足りない切迫した状況にあるのに、税金466億円を使って「1世帯マスク2枚」に金と時間をかける愚作に呆れます。

さらに安倍首相がコロナ対策で設置した専門家会議の議事録が作成されてこなかったことが5月29日、共同通信の取材でわかりました。

「情報隠し」「公文書改ざん」政権の政治劣化は止まらねえ。

るが、給料の算定にはボーナスが含まれないため実質的な手取りが下がる、「最初の1カ月に限って実質的な手取り額が減らない水準まで給付金を引き上げることが有効な対策(同)です。

新型コロナ禍で、特に非正規労働者の家計状況が急速に悪化し、子ども達に大きな影響が及んでいます。

「大綱」では、非正規の雇用対策や育休取得などの支援が明記されていますが、より手厚い支援が必要です。

また、「子どもの数に
応じた国保税の負担軽減を行う地方公共団体への支援を着実に実施する。」としており、子どもの国保税減免に着手すべきです。



世界の国々 ベリーズ 核兵器禁止条約批准、 中南米(32国)で18カ国目、 批准の半数

青山崇

知らなかった国ベリーズ、5月19日批准し37カ国になった。また中南米は18カ国となり、批准37カ国のほぼ半数を占める。中南米は9割の国が賛成し、メキシコ中心に世界初の非核兵器地帯条約(トラテロルコ条約)発効地域でもあり、条約成立のイニシアチブを発揮したと評

価されている。ベリーズは、周辺にメキシコ・ホンジュラス・グアテマラ、海を隔てキューバ・ジャマイカがある。面積は四国ほどで人口39万、首都ベルモパ。紀元前から16世紀までメキシコの南東部・グアテマラと共にマヤ文明の地で、同じ頃のインカ文明を代表するマチュピチュ遺跡(ペルー)にも劣らないカラコル遺跡(写真)などがある。さて、中南米はフテナアメリカともいうが、多くを植民地としたスペインなどの文化を背景とする国が多かったからである。

憂病
其四
困疾不之小病痛
喀痰拡散菌居無
妖痾重患昉難数
二豎愁聞涙眼枯

病を憂う
城貞(藤の花)
其四
困疾は之小病痛ならず
喀痰 拡散して菌 居るや無や
妖痾の重患 昉より数え難し
二豎 愁い聞けば涙眼 枯る

長い間なおらない この病気は軽い病気ではないのだ。咳をして飛び散ったしぶきに(コロナ)菌がいるかどうかはわからない。あやしい病気になって 重い症状の人はあきらかに何人か数えることは難しいのだ。(コロナという)病気のことを心配になって 聞き眼の涙も涸れはてる心地だ。

憂||心配する。困疾||長い間なおらない病気。小||かるい。病痛||病気になる。喀痰||せきをして気管から出る粘液。拡散||気体や液体が広がり散る。菌居無|| (コロナ)菌がいるかどうかわからない。妖痾||あやしい病気。重患||症状の重い患者。昉||あきらかに。二豎||晋の景心が病気のとき病魔が二人の子供になって夢にあらわれたという故事。から病気のことをいう。愁||心配。なげき悲しむ。涙眼||涙をふくんだ目

(豎||子ども。晋の景心||中国の晋(今の山西省)の時代の景心が病気のとき)



その後もスペインの支配と思っていた。しかしイギリスが19世紀中頃ベリーズをスペインから奪い、ジャマイカと一緒にしイギリス領ホンジュラスをつくった。



常習者は首たぜ

前回は、その処分 国民が許すメーよ。で終わったんですが、どうやら国民が思う通り、首相 胸三寸を決めたようじゃないですか。首相の言ったことに合わせなくっちゃ、で法務大臣の言う事が変わってきたんですよ。いわゆる森友学園の公文書改ざん・先の人事院が言い直しをしたのと今のは同じ形さす。▲自民の皆さんは訓告で良いんですか。個人としての考えも判断もないんですか。選挙外しが怖いから言えないんですか。少しブツブツもないんですか。どつちにしても今を許している事だよ。そんな人を選んだ選挙民が悪いことになるが。▲しかし、どう考えても変でしょう。本人が罪を認めて辞任したんですヨ。それが自己都

そして19世紀後半、単独のイギリス植民地になった。第二次世界大戦後の独立への道は、ベリーズの領有権を主張するグアテマラとの対立で難航したことなどもあり、1981年ようやく実現した。このような国は中米に多く、バハマ・ジャマイカ・ドミニカ共和国・グレナダなどがあり、独立していない地域もある。

合で辞めるのだからとあの退職金だぜ。本人が認めた罪を認めないんでは、当然国民が許すメーよ・ダゼ。▲彼は罪の取り調べをしてきた最高の責任者なんだよ。その彼が自分の罪を判定し、絶対仕事は続けられない罪だと判定したんだぜ。それを自己都合の退職だナンテ、専門家に素人が教えるんですか。権威者に失礼でしょうヨ。彼には、かつての判例がチャンと頭の中にあるんだから、それ相当の罪を与えてやらないと往生出来ませんヨ。ンダロヤ首相や。▲現職時の彼は、政界のトップである首相を起訴できる立場にあった。そんな事態があったが、手を出さずに来た。むしろ、かばって手が伸びないようにしてくれたりなど、首相に良くしてくれたからこんな処分、とはどっかの記事か。(石川)